

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（2日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	白糠町	代表者名	棚野孝夫
担当者部署	企画総務部総務課情報統計係	連絡先電話番号	01547-2-2171
担当者役職	係長	担当者氏名	佐藤陽平
住所	088-0392 北海道白糠町西1条南1丁目1番地1		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	白井 芳明
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	
アドバイザー への要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月18日	9時00分	11時30分		150
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 職員	人数 2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	【前回に引き続き】 本町におけるDX関連事務事業の推進に係る体制の構築と推進方法について	
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	【前回に引き続き】 体制の構築と推進方法の確立	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	・DX推進方針の位置付け及び内容について ・自治体DX推進方針重点項目の取り進めに関するアドバイス（システムの標準化・共通化、AI・RPA、行政手続オンライン化、テレワークの推進、セキュリティ対策） ・北見市の「書かない窓口」について ・次回支援時に向けた打ち合わせ	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	・推進方針の位置付けは総合計画を補完するものとして、総合計画への掲載が望ましいというアドバイスを踏まえ、総合計画に追補した。 ・DX重点項目に関連して、システム標準化においてはFit&Gap分析について、AI・RPAについては札幌市の実例を踏まえたものを、テレワークの試行実施方法やオンライン化の計画など、改善につなげることができるであろう、具体的なアドバイスを頂いた。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ◎途中段階であり、具体的な成果物はできていない	
具体的な成果物	◎途中段階であり、具体的な成果物はできていない	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	・上記DX重点項目への対応は、継続して検討、実施していく	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 なし	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

